

研究における情報の公開について

大分大学福祉健康科学部では下記の研究を実施しております。研究対象者となられる方それぞれから同意をいただくことに代えて、情報を公開することにより実施しております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

研究機関名	大分大学
研究課題名	幼児期からの運動不器用潜在リスク判定システムの構築に関する研究
研究期間	倫理委員会承認後 ～ 令和 7 年 3 月まで
研究の意義、目的	<p>本研究では、幼児期時点の運動学的特徴を礎に新たな DCD 潜在リスク判定システムの構築を目的に、以下の 2 つの課題を達成することを目的とする。</p> <p>1) 幼児期から数年に渡る縦断的な定型運動発達の基礎データの構築</p> <p>2) 定型発達から逸脱する発達性協調運動障害 (DCD) の特徴を示すバイオマーカーの検出</p> <p>本研究は、運動の不器用を契機に社会生活に悩む DCD 児の減少、および、子育て中の保護者の心の負担の軽減に繋がり、親子の心身の健康に寄与するものと期待できる。また、リハビリテーション科学、体育学、教育学等の研究者あるいは教育者に対して、重要な情報を提供できるものと期待される。</p>
方法 (使用する資料・情報)	<p>1~12 歳の定型発達児と発達性協調運動障害児を対象に、三次元動作解析システム、床反力計、ビデオ、筋電図、Eye tracker を用いて、歩行や座位でのおもちゃ操作の動作を記録する。データは数カ年に渡り継続的に記録し続ける。</p>
個人情報の取り扱い	<p>得られたデータから氏名、生年月日などの個人を識別可能な情報を削除し、個人情報とは無関係の番号を付し、対応表を作成し、匿名化を行う。データ解析の際には、匿名化後のデータのみを扱うため、個人を特定できる情報は含まない。対応表、研究同意書および質問紙は研究責任者が、研究室内の施錠可能な保管庫内に厳重に保管し、対応表と匿名化された情報は別の場所で管理する。</p>
研究への参加について	<p>研究への協力は研究対象者の自由意思によるものとする。参加希望の連絡を受けた際にも対象者および保護者には説明書にて依頼し、書面および口頭で予め研究目的や情報の取り扱い、倫理的配慮等について説明する。同時に、研究への参加は本人の自由意思によるものであり、いつ参加の意思を撤回してもいかなる不利益も生じないことを説明する。同意の得られた対象者に対しては、研究同意書に署名を得て、研究を行う。</p>
研究責任者問合せ先	<p>萬井 太規 大分大学福祉健康科学部理学療法コース・097-554-6109</p>

※研究責任者は 1 枚にまとまるように記載すること